

## 第1期一宮町総合戦略評価書説明

### 一宮サーフストリート構想

#### ①サーフィンセンター設置

地方創生加速化交付金を活用しサーフォノミクス調査測量業務を実施。

具体事業としては、サーファーの経済効果の分析、サーフィンセンターの基本構想、モニタリングハウスの予定地測量を実施しました。

本事業は、リノベーション事業、モニタリングハウス事業、サーフィンセンター事業をセットで実施する計画でしたが、国の交付金制度の変更に伴い、モニタリングハウスの予定地測量の土地造成設計費が対象外とされたことによりその他の事業についても実現が困難となりましたので定性評価としてはDとしています。

#### ②子供向けサーフィン教室

地方創生推進交付金を活用し、観光サーフィン体験事業を実施しました。計画通り実施しましたが、継続にはいたっておりませんので定性評価としてはBとしています。

#### ③サーフストリートから駅周辺地域への誘導

未実施のため定性評価としてはDとしています。

#### ④まちづくり会社の設置

官民連携によるまちづくり会社「(株)一宮リアライズ」を設立しました。市街地調査、空き家リノベーション事業としてSUZUMINEを実践しました。まちづくり会社を軸とし地域課題解決に向けた事業の実施、新規事業や雇用などの確保を行う予定でしたが、そこまでの展開には至らなかったため定性評価としてはCとしています。

#### ⑤モニタリングハウスの設置

国の交付金制度変更に伴い、モニタリングハウスの予定地測量の土地造成設計費が対象外とされたことにより町単費では事業実施が困難であるため実現には至りませんでしたので定性評価としてはDとしています。

### 都市軸の整備

#### ①駅周辺部とサーフストリートを結ぶ交通導線の整備

町内観光地の周遊や交通不便地区の町内中心部へのアクセス手段として、町内を循環するワンボックスカーを運行、現在はコロナにより休止中ですが、また、駅前観光施設建設事業を実施「観光案内所」「農産物直売所」「テナント」の複合

施設として一宮町観光拠点施設をオープンし現在も、レンタサイクル、レンタルサーフボードの貸し出しも行い展開中ですので定性評価としてはAとしています。

#### ② J R 上総一ノ宮駅東口改札の設置

令和2年7月1日よりJ R 上総一ノ宮駅東口として利用開始。駅利用者の3割が東口を利用するなど、駅の利便性が向上しましたので定性評価としてはAとしています。

#### ③ 駐車場・駐輪場の整備

町無料駐輪場を開設（神門踏切南側）しましたが、駐車場に関しては未整備のため定性評価としてはCとしています。

#### ④ 駅周辺の景観整備

リノベーション実践事業である「SUZUMINE」の開設により、中心市街地が民間独自の力で、玉前神社周辺（和菓子店、雑貨店、お茶店、張り子店など）の景観整備が図られたことは起爆剤となったとして定性評価としてはCとしています。

#### ⑤ 駅周辺商店のブランド化

まちづくり会社と連携し様々なプランを進める予定でしたが実現には至らなかったため定性評価としてはDとしています。

### **雇用創出と事業創出**

#### ① 企業の担い手育成・研修生受け入れ

創業セミナー（平成27年度）を実施しましたが、定期的な継続にはいたっていない為、定性評価としてはBとしています。

#### ② 農業のICT化に向けた創業支援

強い農業づくり交付金（H27）若手農家を中心とした農業法人 CFF（長生フロンティアファーム）の創設及び施設の導入を支援し、現在も稼働していることから定性評価としてはAとしています。

#### ③ 農業者の経営人材育成

担い手確保・経営強化支援事業（R2）今後の農業を牽引する優れた経営感覚を備えた担い手を確保・育成するための支援（2件 農業用ドローン導入・直進アシスタント付田植え機導入）や、長生農業独立支援センターを創立（3町村・JA）（R元）長生地域の新規就農者を確保・育成するため、研修から就農までを一環として行い地域農業の振興を図っていることにより定性評価としてはAとし

ています。

#### ④農業の6次産業化と雇用促進

特産品開発支援事業（H30～H31）一宮町産業の活性化と発展を目的として、一宮町独自の特産品の開発や販路の開拓に要する経費について予算の範囲内で補助金を交付（H30 1件、R元 4件）しましたが、継続及びブランド化までには至らなかったことにより定性評価としてはCとしています。

#### ⑤女性の仕事応援

女性の活躍推進事業（ママフェス・創業セミナー他）、ICTを活用した子育て情報発信としてCあわせこそだてモバイルサービスを実施、ほぼ計画どおりのため定性評価としてはBとしています。

#### ⑥社会参加と生きがいづくり

一宮保育所リノベーションなどにより検討を進めていましたが実践に至らず定性評価としてはDとしています。

### **子育て支援と個性ある教育の推進**

#### ①地域子育て支援拠点の設置

保育園に入所していない親子が集える場所として、町内4保育施設に設置しました。映画会や園庭解放、親子あそびの他、子育て相談などを実施していますので定性評価としてはBとしています。

#### ②子育てマップの作成

平成27年度子育て支援サイトを作成し、子育てのための情報等を発信し、好評を得ていましたが、千葉県にて『チーパス・スマイル』が開設されたことにより、町のサイトを補完することから県のサイトを利用していることなどから定性評価としてはBとしています。

#### ③子育てコミュニティの支援

平成27年度に『ママによるワークショップフェスタ』を開催しました。様々な資格を持ったママたちが体験型ワークショップを行い、町内外のママさんが集まり交流を深めたことから定性評価としてはBとしています。

#### ④保育料第3子無償化の実施

保育料無償化に向け検討していましたが、国の方針で令和元年10月より、3歳から5歳児は無償化になりました。保育料は無償化になりましたが、副食費（おかず・おやつ代）は家計の負担となることから、町の独自軽減策として、第3子以降のお子さんを年齢制限なしで、無償化にしました。また、子育て応援商

品券発行事業も実施したことから定性評価としては A としています。

⑤結婚相談所の設置

未設置のため定性評価としては D としています。

⑥産科医・助産院の整備促進（広域連携）

未推進のため定性評価としては D としています。

⑦既存公共施設を活かした児童館機能の充実

幼児向け絵本（約 5,000 冊）を所持しているいちのみや保育所では、「はらっぱ文庫」を開設し、町内在住の小学校就学前のお子さんに対し「絵本作家 どうかや先生」の絵本教室を実施しました。現在も継続中のため定性評価としては A としています。

⑧ICTを活用した一宮町独自の教育

ICTを活用した地方創生特別教育（千葉工業大学と連携し、ロボットプログラミング事業（H27～継続中）により定性評価としては A としています。

⑨十二社祭り・宮薙行燈まつり等の祭事の賑わい創出

祭事主催者による広報やちらしなどで参加の促進をおこなっているもののコロナにより中止となっています。定性評価としては B としています。

⑩茶あびの合同開催

開催について検討しましたが実施には至らなかったことにより定性評価としては D としています。

⑪伝統的旧家の保護、活用

町内の歴史的建造物の調査研究を進め、平成 29 年に町内の 3 件 8 棟の歴史的建造物が、国登録有形文化財に登録されました。これらの建物はいずれもカフェや店舗として利活用されていることから定性評価としては B としています。

⑫自然との触れ合い

大人も子どもも楽しめる観光地曳網体験を実施しているほか、憩いの森や里山活動、海の活動がされています。しかし、子ども達が自然環境の中でも安全に遊べる公園の整備には至っていないため定性評価としては C としています。

**シティープロモーション**

①移住マーケティング

転入者転出者アンケートの実施や移住支援サイト「ichinomiya clip」を開設、

様々な移住等雑誌やメディアの取材を受入れ、町の知名度を積極的に発信したことにより定性評価としては B としています。

②メディアとの提携

一宮町サーフタウンプロモーションを行う為に、「サーフィンと生きる町。」というサイトを作成し、動画やサーフィンに関連する方々との対談等を掲載しています。また、様々な移住等雑誌やメディアの取材を受入れるとともに、オリジナルバックボードの配備や町勢要覧を刊行、更に本要覧とるるぶの英語版も刊行し、町の知名度を積極的に発信したことにより定性評価としては A としています。

③訪問者向けWi-Fi 観光案内

駅前観光案内所と釣ヶ崎海岸観光案内所へ Wi-Fi 設置をしました。多言語による観光案内については情報誌や町勢要覧の英語版を発行しましたので定性評価としては B としています。

④公的Web ページの多言語化

町公式 HP の多言語化や国際交流員配置 (H29~R3) により定性評価としては B としています。

⑤長生(ながいき)ブランド ブランディング&マーケティング事業(広域連携)  
未推進により定性評価としては D としています。

※尚、重要業績評価指標 (KPI) については、目標値に対する実績値により評価を示していますのでご確認ください。